



高野口中学校 基本コンセプト（案）

学びを真ん中に、未来を織る ～みんなで未来を織り広げていく学校～

一人ひとりが安心して自分らしく学び
生徒や先生、地域の人と共に育ち合う。
高野口の自然・歴史・人とのつながりを力に
多様な学びと居場所をみんなでつくり
誰もが通いたくなる中学校をめざします。



▲基本コンセプトを表した図

基本コンセプトを読み解く三つのキーワード



生徒が主役



みんなでつくる



高野口らしさ

この三つのキーワードは、今後の整備方針や具体的な学校づくりへつなげていくための軸となるものです

解説

「学びを真ん中に、未来を織る。～みんなで未来を織り広げていく学校～」

この言葉には、まず「**生徒一人ひとりの学びと成長を学校づくりの中心に据える**」という考えを込めています。

「**学びを真ん中に**」は、先日第二回検討委員会で出された、**学校としての生徒を主役とし、学びを中心に考える**ことが大切だという意見を、端的に表したものです。

「**未来を織る。～みんなで未来を織り広げていく学校～**」には、高野口の**地場産業**である織物のイメージを重ねています。生徒、先生、地域の人たちが、それぞれの個性や思いを**1本1本の糸のようにつなぎ合わせ、みんなで学校をつくり、育て合いながら、未来を形づくり、ずっと続いていく**。そんな学校を表現しています。

このコンセプトには次のような学校づくりへの想いを込めています。

- ・一人ひとりが安心して自分らしく学べる学校
- ・自ら課題を見つけて解決する力を育む学校
- ・生徒や先生、地域の人たちが共に育ち合う学校
- ・高野口の自然、歴史、人のつながりを活かす学校
- ・多様な学び方と居場所をみんなでつくる学校
- ・誰もが通いたくなる中学校をめざす学校

を学校づくりの基本的な姿として示しています。

自然や歴史、地域とのつながりを大切にしながらも、その**中心には、あくまで生徒と学び**がある。地域に開かれた学校であると同時に、**中学生一人ひとりが安心して過ごし、自分らしく挑戦できる学校**をめざすコンセプトです。